



鹿児島県護憲平和 フォーラム情報



NO—147 2023.5.1

発行：鹿児島県護憲平和フォーラム E-mail:kenheiwa@bronze.ocn.ne.jp

連絡先：鹿児島市鴨池新町 5-7 TEL 099-252-8585 FAX099-258-4560

声があがる社会、声をだせる社会へ

代表 平井 一臣

3月 11 日、久しぶりにデモに参加した。この日行なわれた「ストップ川内原発！3.11かごしまパレード」である。

東本願寺前から出発、いざろの交差点を左折し、天文館を抜けて高見橋のたもとまで。デモの先頭で横断幕を持ち、時々隣のお坊さんとの会話も楽しみつつ歩いた。青空の下でシュプレヒコールをあげながら、あっという間に時間が過ぎていった。

この集会でも「パレード」という言葉が使われたように、現在の日本では「デモ」という言葉は敬遠され気味である。しかし、ここではあえて「デモ」という言葉を使いたい。というのも、人びとが公の場で自らの意思を自由に表現する「デモ」を忌避する雰囲気が非常に強くなってしまっており、そのことは、日本社会の危機を示していると思われるからである。

大学の講義で学生たちにデモについて尋ねてみたことがある。そうすると、圧倒的多数は、そもそもデモを見たことがない、と答えた。また、デモについての感想や意見を聞いてみると、「なんだか怖い気がする」「選挙があるのだから必要ないのでは」、なかには「非合法活動はいけないと思う」といった意見まで出てくる。デモは、私たち市民が行なうことができる正当な意思表示の権利であるということを知らない学生も少なくないのだ。

4月 22 日付『朝日新聞』のある記事に目がとまった。袴田巖さんの再審開始決定について、台湾出身の研究者・李怡修さんという方のインタビュー記事である。日本の再審制度の改革の遅れについて、台湾の状況と比較した内容だ。



私が注目したのは記事の最後の部分。李さんは、台湾で法律に関する様々な改革が進んだ背景について次のように述べている。

「刑事訴訟法だけではありません。2000 年代に軍隊のいじめで死者が出たとき、加害者である上司は軍事審判法という特別な法律で守られ、公開の法廷で裁かれませんでした。数万人の市民がデモをし、法律は事実上廃止されました。

民主主義の国では、国民が声を上げなければ何も変わりません。私は日本でデモが少ないので不思議です。」

李さんが言うように、日本社会にも様々な問題が渦巻いているにもかかわらず、人びとがデモを通して声を上げることは非常に少ない。私たちは、民主主義の担い手として市民が伸びやかに声を上げデモ行進を行う社会、言い換えれば、声があがる社会、声をだせる社会を作っていく必要があるのではないのだろうか。

県護憲フォーラム ホームページの活用・拡散のお願い

- ・県護憲平和フォーラムの「ホームページ」が完成しました。
- ・フォーラムの活動を、これまで以上に各構成組織の会員の皆さんにお知らせすることを目的として開設しました。各構成組織での活用と会員への拡散をお願いします。
- ・インターネットで「鹿児島県護憲平和フォーラム」で検索、または下記の URL で閲覧出来ます。 URL <http://k-peace-forum.org>
- ・携帯電話で右記の QR コードでも閲覧出来ます。



《県護憲 HP より抜粋》

わたしたちは鹿児島県護憲平和フォーラムです！

わたしたちは人類の普遍の課題である「平和・人権・環境・共生・教育」が保障される社会を構築するために、2009 年に「鹿児島県平和運動センター」と「鹿児島県憲法を守る会」が有機的に結合し、「鹿児島県護憲平和フォーラム」を結成しました。

わたしたちは悲惨で甚大な犠牲を産みだした歴史から平和憲法を獲得しました。そして「国際

 鹿児島県護憲平和フォーラム
Kagoshima Constitution Peace Forum

[ごあいさつ](#) [活動内容](#) [フォーラム情報](#) [お問合せ](#)

鹿児島県護憲平和フォーラムは、日本憲法を護り活かし、戦争も核兵器・原発もない「平和・人権・環境・共生」の社会を目指す組織です。



共同演習「抑止力を強化」

在防衛省合同演習と洋上にて実施

2023年11月16日 火曜日 晴れ

（本文）

紛争を解決する手段」としての「武力」を放棄し、世界に名誉ある地位を築いてきました。歴史の反動の中で、憲法を「改正」して再び軍備化し「普通の国」と称して「戦争のできる国造り」の策動が繰り返されてきました。しかし、地域や職場での民主主義の闘いがそれらの策動を阻止してきました。

また、最も非人道的な兵器である核兵器は、多くの人々の核兵器廃絶の願いに反し地球上に大量に存在しています。唯一の戦争被爆国であるわが国は、一時も早く核兵器のない地球を目指しその先頭に立たなければなりません。2011 年に起きた東京電力福島原発の事故は、人類が核を制御できないことをわたしたちに見せつけました。

わたしたち鹿児島県護憲平和フォーラムは「武力では平和は築けない」「核と人類は共存できない」の合い言葉の下、あらゆる戦争・武力に繋がる策動を許さず、「戦争も核兵器・原発もない社会・地球」をめざして、運動を進めていくフォーラムです。

掲載日:2023年04月06日、面名:1社

(C)南

自衛隊・米軍軍用機による低空飛行の監視と報告のお願い

2022年度に県内各地で住民から寄せられた所属の判らない軍用機の低空飛行が92件、過去3番目の多さで、多くは米軍機の可能性が報告されています。鹿児島県が集計を始めた06年度以降、3番目で昨年度まで2年連続で100件を超えていました。例年多い奄美市が減少傾向にあり、県内最多は日置市の29件で、最多は20年度の137件でした。県は、住民からの問い合わせに、自衛隊機や民間機でないと判断したものと九州防衛局に照会し、3ヶ月ごとの回答では、22年度は12月末までの72件のうち69件が米軍機の可能性があるとしています。

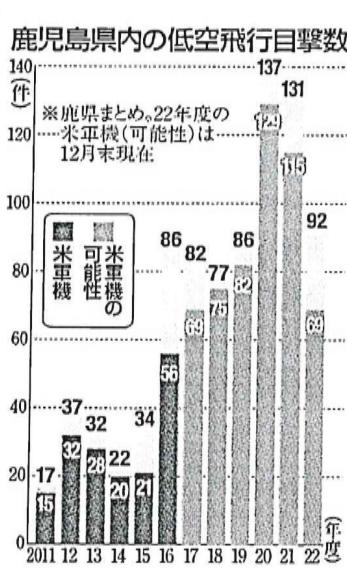
県の危機管理課は「九州防衛局を通じて、米軍に安心・安全確保の徹底を申し入れるよう要請しています」と説明し、全国知事会でも騒音測定器を増やすなど国の責任で必要な実態調査を行うよう求めていますが、日米地位協定で守られている米軍の低空飛行が無くなることはありません。

今後、馬毛島に軍事基地が完成し訓練が始まれば、県内の低空飛行が急増することが想定されます。最近、また同様の低空飛行が多数目撃されていることから、「鹿児島に米軍はいるらしい県民の会」では、皆さんに報告を要請します。詳細は、県護憲平和フォーラムか、各地区ブロック平和フォーラムまでお問い合わせください。

県内低空飛行92件

過去22年度目撃
過去3番目

多くは米軍機可能性



情報にどれだけ差があるのかは分からぬ」としている。

鹿児島県危機管理課は

「九州防衛局を通じて米軍に安心・安全確保の徹底を申し入れるよう要請している」と説明。全国知事会でも騒音測定器を増やすなど国の責任で必要な実態調査を行うことを求めている。

(下野敏幸)

鹿児島県内で2022年度に住民から寄せられた低空飛行の目撃情報は92件で、県が集計を始めた06年度以降、3番目に多かつた。県は自衛隊機や民間機で飛行の多くは米軍機の可能性がある。昨年度まで2年連続で100件を超えていた回答を得ている。22年

度は12月末までの72件のう

とあるとされている。

奄美市は20年度が90件、21年度が46件と県内最多だつたが減少傾向にある。

同市防災危機管理室によ

り、奄美市と鹿児島市が27件で統いた。

日置市では南さつま市加

日置市に回答を得ている。

22年度集計の市町村別

世田方面から日置市吹上方向に北上する機体が多く、夕方や夜間にかけての目撃情報を少なくないという。

奄美市は20年度が90件、21年度が46件と県内最多だつたが減少傾向にある。

同市防災危機管理室によ

第 20 回鹿児島県原子力安全・避難計画等防災専門委員会を傍聴して

4 月 26 日開催された専門委員会は、特にこれまで 12 回開催された分科会のまとめに対する報告書案中心に議論がされた。結論的にはいくつもの疑義とする発言があったが、専門委員会は報告書案を「良」とする内容でまとめられ、これをベースに報告書が作成されることとなる。

過日の報道の中で「運転延長は適正と総括」した旨の内容は、分科会終了後の「ぶら下がり」内容で、言葉足らずだったと釜江座長は陳謝。本当は本音を語ったのではないだろうか。

今回の議論では安全性が十分確保されているとは言い難い、検証項目の中で「留意すべき事項」とあるが、それは誰が留意し、責任の所在もはっきりしないなど鋭い指摘がされた。次回は最終案が示されるのだろうが、安全性に関する継続的検証が求められものと思います。

県護憲平和フォーラム主催



5.3 憲法記念日集会

日時 2023 年 5 月 3 日 (火)
10 時～12 時 * 入場無料。どなたでも参加出来ます、
* マスクの着用をお願いします。

場所 鹿児島市国際交流センター
鹿児島市加治屋町 19-18 (旧鹿児島市立病院跡地公園横)

講師 飯島 慶明さん (名古屋学院大学教授)

演題 「岸田政権がめざす憲法改悪と防衛強化」(仮題)

各ブロックの取り組み

●奄美ブロック

5 月 3 日 (火) 憲法記念日集会 10 時 市民交流センター
22 日 (月) 護憲駅伝大会 11 時 名瀬小校庭スタート

●大隅ブロック

5 月 3 日 (火) 第 54 回憲法を守る駅伝大会 10 時～ 鹿屋市役所前広場

●鹿児島ブロック

5 月 20 日 (土) 総会記念講演会 (9 時半～、県労館 7 階ホール)
講師：高野孟さん、演題：「台湾有事切迫論の嘘に騙されるな」

各団体の取り組み

●憲法記念日 街頭アピール行動 天文館センテラス前歩道
(主催：かごしま九条の会)

5 月 3 日 (火) 12 時 45 分～13 時 15 分

●大軍拡 NO!鹿児島を日米の軍事拠点にするな！6.4 かごしま集会
(主催：憲法壊すな・戦争法廃止！かごしまの会)

6 月 4 日 (日) 14 時～15 時 鹿児島市中央公園